

2022防災訓練アンケート結果

質 問	北山田（机上訓練）	五条（机上訓練）	山田（実地訓練）
Q1：訓練の流れは想定していたとおりでしたか？	想定された訓練であるのに、無線の混信で情報伝達がスムーズでなかった。必要とされているところには、デジタル無線より、IP無線の検討された方が良いように思慮します。	概ねその通り	<ul style="list-style-type: none"> ・ 想定の通りです。 ・ 講評については、無線を通しての講評とってなかったもので、町内代表がセンターへ行く予定をしました。
Q2：今回の訓練に於いて自町の課題は、何ですか？	役員が交代し、安否確認の方法を十分理解されていなかった。	安否確認の方法を、各組長に委ねることとしましたが、組の戸数などに違いがあり、迅速な対応が困難と思いました。→組長だけに頼らず、ほかの方法も模索したいと考えています。	町役員と自衛消防隊隊長の訓練参加で各組組長と、自衛消防隊を含めて、安否確認の組織作りが必要
Q3：今回震度6強での被害想定をしていただきましたが、他町と比較してあなたの町の被害想定はどう思われましたか	当町は、倒壊より液状化による被害が深刻になると考えている。	相当だと思われます。ただし、医療機関で治療が必要な人が本当に受け入れ可能かが、不安です。	人的被害想定は当町より多い町があった
Q4：今回の学区の訓練についてのご意見をお聞かせ下さい	コロナ禍であることから致し方ないと思います。	無線機の使い方が不慣れで、うまく送信が出来ない時がありました。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 被害想定について状況調査はもう少し細かく行うべき。特に人的被害については、救急対応が必要か、とりあえず応救で可能かなど。 ・ 家屋の倒壊については、救助が必要か否かを優先。
Q5：次年度よりの学区の訓練のあり方について、ご意見があればお聞かせ下さい。	感染が収束すれば、単独訓練ではなく、何かの事業と一緒に計画いただき、広く学区民の参加を呼びかけてはどうでしょうか（運動会、バザー等）	無線の届かないと想定された町内は、まちセンの駐車場からの訓練では本当の意味での訓練になってないと思う。無線が届かないのであれば、その対策を考えるのが第1であると思います。	無線機の性能改善

2022防災訓練アンケート結果

質 問	陽ノ丘団地 (コロナ感染拡大防止のため不参加)	南山田 (実地訓練)	不動浜 (実地訓練)
Q1: 訓練の流れは想定していたとおりでしたか?		<ul style="list-style-type: none"> ・ ほぼ想定した内容で訓練を遂行出来たと考える。 ・ 町内での初動活動時に「CH20」で無線機の交信を行った、大きなトラブルにはならなかったが反省である。 (資料への明記などをしていただきたい) ・ 火災が発生しているとの情報が入り、対策本部に集合している隊員にも事柄が伝わるように広報し情報の共有につとめた。 	想定どおり
Q2: 今回の訓練に於いて自町の課題は、何ですか?		被害状況の把握をもう少し詳しく行い、救出活動や消火活動などの応援の人必要なかどうか判断し、より災害発生時に活かせるような具体的な防災訓練を目指していきたい。	安否確認訓練について、より具体的な対応を考えたい。
Q3: 今回震度6強での被害想定をしていただきましたが、他町と比較してあなたの町の被害想定はどう思われましたか?		実際のところ災害が発生してみないとわからないが、ほぼ想定した被害内容であったと考える。	自分の町の被害想定について、専門家に想定してほしい。
Q4: 今回の学区の訓練についてのご意見をお聞かせ下さい		無線機の交信時に言葉が詰まることもあり、無線機の交信手ほどきなどが有れば、よりの確に情報の交信が出来たと考える。	本部長が全て対応しているように思えたが、各班分担した方が良いのではないか。
Q5: 次年度よりの学区の訓練のあり方について、ご意見があればお聞かせ下さい。		町内会だけでは取り組みがなかなか出来ない防災訓練であり、広域での防災訓練は無線機での交信情報も入り有意義であったと考える。今後はマンネリ化しないように訓練の内容を変えていくことも必要かと考える	他町との連携訓練

2022防災訓練アンケート結果

質 問	岡（机上訓練）	南山田団地（実地訓練）	御倉（机上訓練）
Q1：訓練の流れは想定していたとおりでしたか？	だいたい想定していた通りだった	<p>学区の防災訓練に連動した町内会防災訓練を全員参加を基本に「被害状況シート」を活用し実施したが、訓練の流れとしてはほぼ想定通りであった。</p> <p>自主防災組織に事前にシナリオなしで訓練したので、組織的な動きが一切なかったのが、想定していたとおりで、大きな課題があぶりだされた。（事前にこのようなことを想定し、自主防災組織とは別に訓練運営スタッフ11名で訓練に臨んだが、訓練運営スタッフでさえ、役割を十分理解していないケースがあったのが残念だった）</p>	概ね想定通り
Q2：今回の訓練に於いて自町の課題は、何ですか？	町全体の防災意識を高めることかなと思います。	<p>安否確認する上で現在組織している自主防災組織の通報連絡班が機能しなかった。</p> <p>高齢化率が高い当町内会では各地で大災害がおこるたびに防災の重要性を言われるが、以前から懸念していたとおり、現在の自主防災体制では十分機能しない。また、住民一人ひとりの危機管理意識や防災への協力意識が低い。</p>	町民全体への周知徹底
Q3：今回震度6強での被害想定をしていただきましたが、他町と比較してあなたの町の被害想定はどう思われましたか	問題ないと感じた	当団地の立地条件（軟弱な地質で地下水位が高いことによる液状化の危険性が大きい）等を考えると被害想定が甘く低い。	多少 少なめ
Q4：今回の学区の訓練についてのご意見をお聞かせ下さい	無線での連絡事項の見直し。	<p>訓練には全員参加が重要だと思う。慣れるまでは仕方がないのだが、シナリオ通りの訓練であったのが不安である。</p> <p>まち協防災本部の具体的な組織・体制や人が見えない（実際のときも防災グループで本部運営を担うのか）</p> <p>実際の時はもっと情報が錯綜するので、それに応じたやり取りが出来る臨機応変な体制をとる訓練をすべきと思う。</p> <p>（今回の情報連絡訓練では、町内会は町の状況が続いていたが、実際の時に情報を受ける側の対応が出来るのか不安を感じる）</p> <p>まち協本部の無線機を固定（モバイル）機にして、外部アンテナを常時接続する。各町内会のコールサインを番号にし、その番号を町内会のチャンネルにする。</p>	段階的にレベルアップしていただければけっこう
Q5：次年度よりの学区の訓練のあり方について、ご意見があればお聞かせ下さい。	建物と公共設備の被害状況報告も大切だが、まず自町・他町の助けの有無を優先して連絡するようにはどうでしょうか。	<p>安否確認・避難訓練を主に様々なケースを想定した訓練を行う。</p> <p>アドリブが効かない訓練では現実でない。</p> <p>【改善点として】</p> <p>①無線呼び出し名の簡略化 Ex.防災まち協本部⇔防災キノコ（当町内会のシンボル） 町内会に個々のチャンネルを割り当てる</p> <p>②送受信が混みあってきたときに、複数のチャンネルで対応する。 まち協本部が保有する無線回線が何台か分からないが2～3台を保有し、それに応じた2～3回線の本部チャンネルで本部運営をする。可能なら各町内会で常設アンテナを設置しないと遠方の町内会との通信ができない。</p> <p>③まち協本部も、臨機応変の対応が出来るよう体制を整え訓練する。</p> <p>④3月か4月に年間スケジュールを決める（額防災訓練の固定）</p>	連絡網の効率化

2022防災訓練アンケート結果

質 問	三ツ池（実地訓練）	新田（机上訓練）	木川（実地訓練）
Q1：訓練の流れは想定していたとおりでしたか？	はい	訓練の流れは想定していましたが、まちづくりセンターでの被害況の報告時間がかかり、講評の時の質問も無かったと役員が言っていました。	時間的に余裕が有り、想定通りでした。
Q2：今回の訓練に於いて自町の課題は、何ですか？	町内会防災隊・各班が行動できるようにシミュレーションし、次年度は訓練に取り入れたいと考えます。	自町では町役員では対処できず、組長に組内の被害状況を確認してもらう対策を考えても、組長自体が40%高齢者で被害状況を確認できる状態ではないので、今後の課題として考えていかななくてはならない。	訓練もあり、明確の課題は見つからない ・携帯電話での連絡で良いか・ ・携帯の活用で良ければメール等で一緒に連絡できるかと思う
Q3：今回震度6強での被害想定をしていただきましたが、他町と比較してあなたの町の被害想定はどう思われましたか	被害想定を少なく考えていた。次年度は他町の想定数を考慮してシミュレーションし訓練を具体化したいと考えます。	他町と比較すると、被害想定で各項目の想定が多すぎたような感じでした。震度6強の状況がなかなか想定できない。	若干甘かった様におもう
Q4：今回の学区の訓練についてのご意見をお聞かせ下さい	各町内会の被害状況報告確認に時間がかかり過ぎではないかと思いました。（本当に急がなければならないところ）を早く確認し、行動（救助）出来る方法を考えなければならない と思いました。	他町との温度差が大きく、学区の訓練に合わしにくい面が残る。	・南山田の訓練がトランシーバーに入って来ている。町内連絡はCHを変えて行うべきか ・本部への連絡が14町一斉に行うためトランシーバーが混乱している。→3~4局のトランシーバーで交信し、一斉の混乱を避けた方がよいのではないか ・携帯電話のメール、SMNS機能は使えないか
Q5：次年度よりの学区の訓練のあり方について、ご意見があればお聞かせ下さい。		・トランシーバーの使用について、町内会で講習する必要があると思った。（町内から報告するのは良いが、他町とダブッていても、報告は終わったと思っいても、本部には届いていないことが何件もあった） ・各町内会の被害状況が聞こえるように駐車場に集合したが、現実起きた時の各町内会の被害状況が聞こえるような対策を考えていかななくてはならないのでは、と思いました。	

2022防災訓練アンケート結果

質 問	出屋敷（机上訓練）	出屋敷団地（実地訓練）
Q1：訓練の流れは想定していたとおりでしたか？	想定通りです。	<p>ほぼ想定通りに進める事ができました。各戸に無事を意思表示する「無事ですカード」を配布し、ドアノブ・外構柵等に掲示していただきました。</p> <p>結果的に安否確認をする戸数が23%になり、救出活動に注力することが可能な状況を作ることが可能となりました。</p>
Q2：今回の訓練に於いて自町の課題は、何ですか？	<p>災害時に誰がどの範囲を確認する等が、決まっていない。</p> <p>また、玄関前に掲示する安否確認シートなどがあると、確認する際に便利である</p>	<p>掲示率が77%高率ですが、一方で23%が無関心と捉える事もできます。</p> <p>自主防災活動の必要性・重要性に対する考え方に温度差を感じました。</p> <p>日常的に、種々の情報発信に務め温度差を縮めて行く必要性を痛感した訓練でした。</p>
Q3：今回震度6強での被害想定をしていただきましたが、他町と比較してあなたの町の被害想定はどう思われましたか	<ul style="list-style-type: none"> ・当町：けが人9名、死亡人0名（報告時点）であり、他町ではかなり多い人数を報告している所もあり、人数にかなりの差があった。しかし、倒壊家屋の数や火災によっては、被害が拡大する可能性もある。 ・停電や断水が起こると広範囲に渡るため、被害想定も町内全域が停電・断水とした。 	<p>住人の高齢化、家屋の老朽化が進んでおり、実際の被害は相当数発生すると思われます。</p> <p>滋賀県全体で役1万3000棟が全壊と想定されております。</p> <p>それをベースに考えると、家屋の倒壊・けが人はまだまだ増加すると想定します。</p>
Q4：今回の学区の訓練についてのご意見をお聞かせ下さい	<ul style="list-style-type: none"> ・本部から各町内会に報告を求める場合には「〇〇町お願いします」と順番に確認していった方が良いと考える。 ・町内会内での通信は20～23ch以外を使用することの周知が必要。 ・線の通信の始めに「こちら〇〇町です」を徹底する必要がある。 ・本部の音声は良好で聞きやすかったが、遠方の町内会は一部途切れたり、聞こえづらいところもあった。 ・無線の使用方法や山田学区の無線の取り扱い方法について、役員と自衛消防隊長で共有できた。（実際に無線2台を用いて、使用方法の訓練を実施した） 	<p>山田学区防災訓練では、震度6強の地震が発生との前提で訓練を実施。</p> <p>（南海トラフ地震を想定したものと思われる）</p> <p>一方、山田学区防災計画で震度5以上の地震が発生時に初動と有ります。</p> <p>今回、防災訓練の案内を元にして「無事ですカード」を作成・配布。</p> <p>震度5以上で初動が基準であるならば、全てにおいて、震度5で統一した表現にして欲しい。</p>
Q5：次年度よりの学区の訓練のあり方について、ご意見があればお聞かせ下さい。	<p>継続した無線の訓練は必要と考えます。</p> <p>各町はそれぞれの町にあった手法で訓練を実施。</p>	<p>山田学区まちづくり協議会の防災訓練の日程について、年度初めに決定してほしい。</p> <p>町内会の防災訓練日が、まち協と重複しないようにする為です。</p> <p>できれば、9月～10月辺りがベターです。</p>